

みやぎの青少年意見募集事業

環境生活部共同参画社会推進課

目次

1. 事業概要

2. 事業の流れ

3. 青少年の意見と今後の方向性

1. 事業概要

【目的】

- ・地域で主体的に活躍できる**人材を育成すること**
- ・若い世代の視点や意見を**県政に反映させること**

【テーマ】

- ①「こども政策への意見の聞き取りについて」（子育て社会推進課）
- ②「痴漢撲滅に向けた方策について」（警察本部県民安全対策課）
- ③「インターネットやSNSに起因する非行と被害防止対策について」（警察本部少年課）

【実施方法】（対象：県内の中学1年生から29歳までの若い世代）

- ・アンケート ▶ 各テーマ5問程度の質問に答えてもらう。Webアンケートや紙の回答用紙を使用。
- ・意見交換会 ▶ 参加者同士や担当課職員との意見交換を行う。対面形式で開催。

1. 事業概要

○アンケート

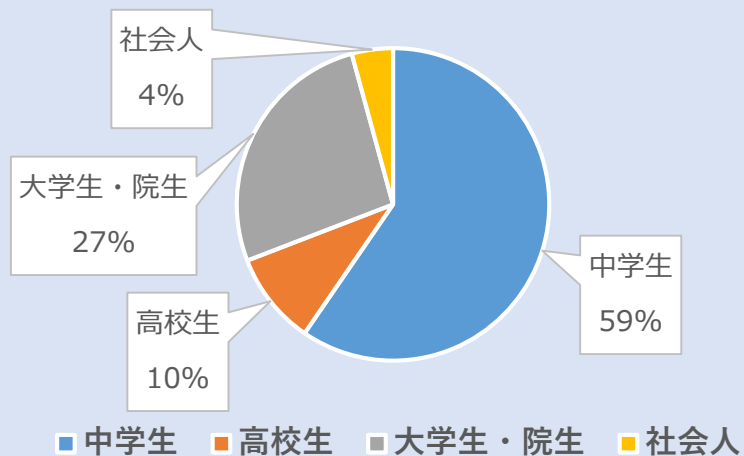
【日程】

- ・ 令和5年8月4日～12月26日

【参加者】

- ・ 計94人

中学生：56人
高校生：9人
大学生・院生：25人
社会人：4人



○意見交換会

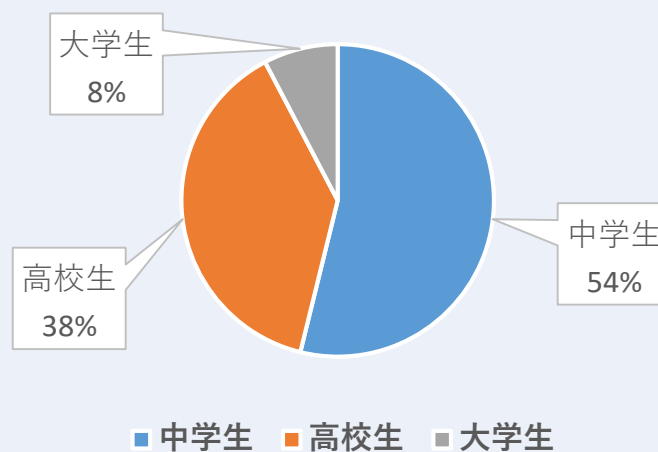
【日程】

- ・ 令和6年1月24日（水）

【参加者】

- ・ 計13人

中学生：7人
高校生：5人
大学生・院生：1人



2. 事業の流れ

アンケートの実施

▶ **形式**：Webアンケート
紙の回答用紙
日程：8月～12月
回答：94人

みやぎの青少年意見交換会

▶ **形式**：県庁にて対面形式
3グループ体制
日程：1月24日（水）
参加：13人

今後の方向性の検討

▶ **形式**：各テーマ担当課で
今後の方向性を決め、
政策の改善を目指す
日程：2月～3月

3. 青少年の意見と今後の方向性

【テーマ】

① こども政策への意見の聞き取りについて

担当：子育て社会推進課

② 痴漢撲滅に向けた方策について

担当：警察本部県民安全対策課

③ インターネットやSNSに起因する非行と被害防止対策について

担当：警察本部少年課



いただいた意見を踏まえ、今後の政策の改善を目指します！！

各テーマで青少年から出た意見や今後の方向性は次ページに記載されています。

①「こども政策への意見の聞き取りについて」への反映

- みなさんからいただいた「あなたが意見を発信しやすい方法は？」についての意見は、**若い世代が安心して気軽に意見表明ができるインターネット上のプラットフォームやSNSを活用する**という形で反映していくこと検討しています。
- 若い世代がこども政策をじぶんごととして考えてもらえるような周知を心がけます。

青少年の意見

○特定の人をZOOMなどでつないで意見表明すると伝えやすい。ZOOMは**顔が見えるので安心**。

○学校で文書として配布されると**安心感**がある。

○**インターネット上のプラットフォーム**等からアンケートにアクセスできるといい。

○アンケートに制度などの周知を含めるのもいいと思う。

○**県の方針が分からない**ので、学校と連携して講義などで県の政策などを詳しく紹介すると思う。

○こども食堂のパンフレットを小・中学校にも配ってほしい。小さい子にも**わかりやすい**と思う。

意見反映時のポイント

◆若い世代が安心して、気軽に意見を表明できる方法を用意する必要がある。

◆若い世代が理解しやすく、じぶんごととして考えられるような方法で、こども政策に関する情報に触れる機会を作っていくことが重要である。

今後の方向性

◇令和6年度の**新しい取組**として、中学2年生の皆さんを対象とした生活や意識についての**アンケート調査を実施**します。

◇このアンケート調査では、**若い世代がアクセスしやすく、安心して回答できる**インターネット上のプラットフォーム（例えばGoogleフォーム等）を活用します。

◇学校を通じて**今年の6～7月ごろにアンケートの回答を呼びかける**予定です。

◇今後、こども政策について若い世代に周知を図っていく際には、県庁内のさまざまな部署と連携しながら、「**じぶんごと**」として考えてもらえるような周知方法を検討します。

②「痴漢撲滅に向けた方策について」への反映

- みなさんからいただいた「あなたが考える痴漢防止の啓発方法は？」についての意見は、**若い世代が興味を持つような広報啓発用チラシやポスターのデザインを作成する**という形で反映していくこと検討しています。
- イラストやマンガ形式で作成することを心がけます。

青少年の意見

○チラシとかポスターは、文字がたくさん書いてあると読みたくなくなると思うから、**イラストとかで分かりやすくするのがいい**と思う。

○**マンガ**とかにして、ポスターや教科書に書いてあれば読んでもらえる。

○痴漢被害の事例を伝えるには、それこそ**マンガ**とかを使えば、**若い世代から広まっていく**と思う。

意見反映時のポイント

◆現在、使用しているチラシやポスターは、活字が多く、イラストも少ないため、若い世代が読みたいと感じない。

◆マンガなどを用いた若い世代が興味を持てるようなデザインを考える必要がある。

今後の方向性

◇広報啓発用チラシやポスターは、イラストやマンガ形式のデザインにしたり、提供したい情報は二次元コードなどを活用する等、活字を減らして、**少しでも多くの若い世代が興味を持って見てもらえるよう工夫して作成**します。

◇作成したチラシやポスターは、受験生が試験に遅刻したくないことにつけ込み、試験会場に向かう受験生への痴漢を促すような動きが見られる**受験期における痴漢事犯対策として学校や公共交通機関等へ掲示する予定**です。

③「インターネットやSNSに起因する非行と被害防止対策について」への反映

- みなさんからいただいた「ネットやSNSを安全に使うための広報の方法は？」についての意見は、**若い世代が利用するSNSや学校などとの連携で広報する**という形で反映していくことを検討しています。
- SNSの利用や、学校・コンビニに掲示するなど若い世代が目にしやすい広報を心がけます。

青少年の意見

○本当の情報か偽の情報の判断が難しい。もっと**具体例**を知ることができるといい。

○現実感がないので、**リアルな内容**がわかりやすいと思う。「こんなメッセージがきたらダメ」とか具体的内容の方がいい。現実味のある内容の方が警戒心が高まる。怖いと思うくらいでいい。

○**SNS広告**のような感じで見ることができるとよい。必ず私たちの目に入ると思う。

○**同年代の生徒からの広告や提案**があると見ると思う。

○**コンビニ・学校などにポスターを貼った**らわかりやすい。

意見反映時のポイント

◆若い世代の多くがSNSを利用していることから、SNSを活用して青少年の非行防止・被害防止活動を行う。

◆若い世代がよく目にする場所での情報発信や、教育現場で利用されているパソコンを通じた青少年の非行防止・犯罪被害防止啓発を実施する。

今後の方向性

◇若い世代がSNSを利用して犯罪に加担する危険性や、性被害などに遭う危険性を**県警公式X**を活用して**情報発信**しますので、興味のある方はぜひフォローしてみてください。



←県警公式X
宮城県警察少年課



宮城県警察ホームページ↑

◇また、宮城県警察ホームページも閲覧してみてください。

◇**中高生の生徒の関心を引くようなポスターやチラシのデザイン**を学校と連携して作成することを検討しています。

◇作成したポスターなどは、コンビニや学校などの**日常的に目の触れる場所**に掲示します。

◇多くの若い世代の方に情報を届けられるよう、学校と連携して**青少年の非行防止、犯罪被害防止**を啓発していきます。